



PDA 滋賀県立膳所高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2020年8月6日(木) 15:00-17:30

会場：滋賀県立膳所高等学校

参加者：生徒10名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、一橋大学

助成：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

初めに、PDAより、POI(ディベート中の質疑応答)などルールに関する確認が行われ、早速第1ラウンドが始まりました。

第1ラウンドでは、現状分析を細やかに رفتり、相手のスピーチをよく聞いてレスポンスするだけでなく、活発にPOIが飛び交い、お互いのわかりにくかった点を理解しようと努めたり、相手の論点の痛いところをつくPOIをしようと試みたりする様子がみられました。ディベートが終わると、ジャッジから勝敗の理由と個人コメントが行われました。個人コメントでは良かった点だけでなく、改善点が具体的に説明され、生徒は次のディベートに活かそうと真剣にコメントを聞きました。



論題発表の様子



その場で英語に変換しながらスピーチ

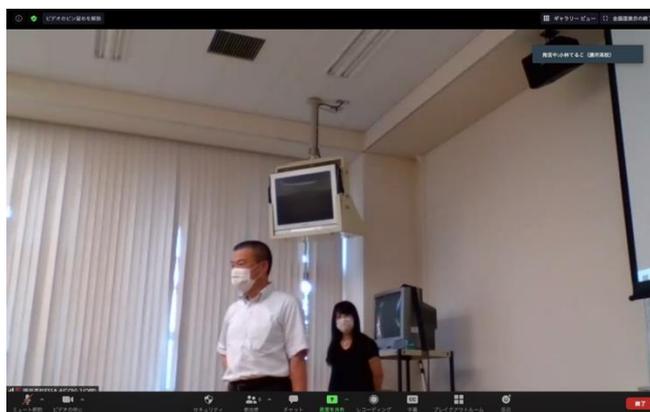
第1ラウンドが終わると、小休憩をはさみ、第2ラウンドのはじまりです。第1ラウンドではあまり詳しく理解できていなかったルールについてもジャッジからのコメントを通してしっかりと理解し、それだけでなくどんな反論が来るか予想したり、相手の出方によって出すポイントを変えるために複数のパターンを想定してポイントをたくさん考えたりなど戦略を練ることができました。

ディベートでは、ただ真正面から否定だけでなく、相手に譲歩した上で反論をしたり、身の回りの具体的なエピソードや、テレビで見たエピソードを具体例として説明したりするなど、第1ラウンドから大きく成長した姿が見られました。



お互いの健闘を称えてエアー握手

最後に、榎原校長先生より、「即興型の英語ディベートではいろいろな力が求められます。また、それらの力はいろいろな場面でこれから先役にたつでしょう。ぜひこれからの頑張ってください。」とエールが送られました。



榎原校長先生よりメッセージ

第2ラウンドでベストディベーターに選ばれた生徒が「第1ラウンドでは思うようにディベートをすることができなかったが、ジャッジのフィードバックや先輩のディベートしている様子を見て学び、第2ラウンドでは成長を実感することができた。」「楽しかった。即興で英語でディベートするということは、相手の言うことに対して即座に反応して、論理的に考えて、それを英語にして話す必要があり大変だが、だからこそ力になると感じた。」と今日の感想を述べました。



2ラウンドディベートをした感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・POI ができなかつたのが残念でしたが、2 回目はベストディベーターにも選ばれて、とても達成感のある 1 日でした！
- ・英語を通じて話すことでみんなのいろんな考えがわかって面白かった。
- ・英語で論理的に、即興ディベートという形で討論し合うのは初めてで、新鮮でした。また、色々なアドバイスを貰えて嬉しかったです。今回学べたことやいただいたアドバイスをもとに、もっと論理的に英語で討論できるようになりたいです。
- ・もっと語彙力を上げて、表現の幅を広げてたいと思いました。本気で英語、勉強します！
- ・英語力の不足を感じたが、楽しく議論できてとてもよかった。
- ・今まで、英語で即興で意見を交わすということをした事がなかったので、新たな経験ができて、英語の力が確実にのびたと思いました。私は、英語が苦手なので、とても難しかったです。回数をこなして、英語力をもっと身につけたいと思います。

ベストディベーターに選ばれた皆さん

■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん

ベスト POI に選ばれた皆さん

■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん
■■■■さん